

第 2 期 市民アンケート報告

スポーツライフに関する実態調査

1) 調査目的

市民のスポーツ実施状況やニーズを把握するとともに、前回令和2年度の調査結果や全国の実施状況などとの比較を行い、本市が実施する施策や事業の在り方を検討するために実施しました。

2) 調査期間

令和6年7月11日～8月13日

3) 調査対象及び回収結果

I. 鳴門市の青少年のスポーツライフに関する実態調査

調査対象：市内公立校在籍の小学校4年生から高校3年生の児童生徒各学年130人程度 合計1,169人
回収状況：1,058人／男性552人・女性490人・性別未回答16人（回収率90.5%）

参考資料

- ・ 笹川スポーツ財団 子ども・青少年のスポーツライフ・データ2023
（調査時期 令和5年6月24日～7月21日／標本数1,515 ※小学校4年生～高校3年生）

II. 鳴門市民のスポーツライフに関する実態調査

調査対象：20歳代～70歳代の各年代200人 合計1,200人、市内スポーツ団体51団体
回収状況：395人／男性157人・女性232人・性別未回答6人（回収率32.9%）、
51団体（回収率100%）

	n				%		
	男性	女性	性別未回答	合計	男性	女性	合計
20歳代	19	26	2	47	12.1%	11.2%	11.9%
30歳代	19	34	1	54	12.1%	14.7%	13.7%
40歳代	26	30	2	58	16.6%	12.9%	14.7%
50歳代	30	38		68	19.1%	16.4%	17.2%
60歳代	34	52		86	21.7%	22.4%	21.8%
70歳代	29	52	1	82	18.5%	22.4%	20.8%
不明	0	0	0	0	0%	0%	0%
合計	157	232	6	395	100.0%	100.0%	100.0%

参考資料

- ・ 笹川スポーツ財団 スポーツライフ・データ2022
（調査時期 令和4年6月10日～7月10日／標本数3,000）
- ・ スポーツ庁 スポーツの実施状況等に関する世論調査
（調査時期 令和5年11月2日～11月30日／標本数40,000）

4) 調査項目

I. 鳴門市の青少年のスポーツライフに関する実態調査

- ① 過去1年間に行った運動・スポーツ
実施した種目／回数の多い主な5種目の実施頻度・時間
- ② 今後も続けたい、または新たに始めたい運動・スポーツ
- ③ 習いごとの実施状況
- ④ 学校の運動部やサークル、スポーツクラブへの加入状況
- ⑤ スポーツボランティア
過去1年間の活動の有無／活動内容／今後の意向
- ⑥ スポーツ施設の整備
市のスポーツ施設の利用状況／新しいスポーツ施設の必要性・望む役割・近くにあればよい施設・アクセス

II. 鳴門市民のスポーツライフに関する実態調査

- ① 過去1年間に行った運動・スポーツ
実施した種目／実施した日数
 - ② 現在行っている、また、今後行いたいと思う運動・スポーツ
 - ③ スポーツクラブ・同好会・チーム
加入状況／今後の意向
 - ④ 総合型地域スポーツクラブの認知度
 - ⑤ スポーツボランティア
過去1年間の活動の有無／活動内容／今後の意向
 - ⑥ スポーツ施設の整備
市のスポーツ施設の利用状況／新しいスポーツ施設の必要性・望む役割・近くにあればよい施設・アクセス・必要な設備・誰もが使いやすい施設とするために必要な設備
- ※市内スポーツ団体については⑥のみを調査。

5) 調査方法

質問紙調査

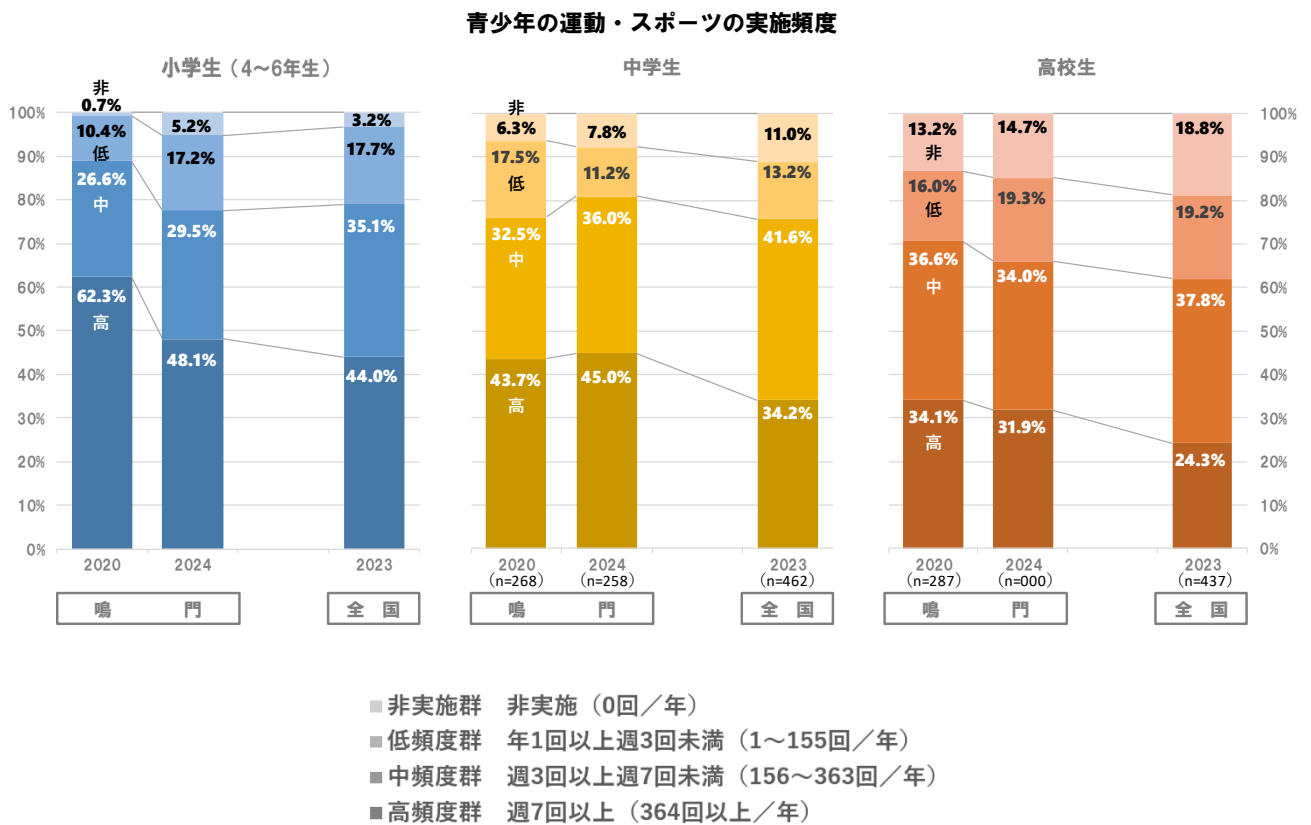
6) 調査結果

I. 鳴門市の青少年のスポーツライフに関する実態調査 結果（小学4年生～高校3年生）

① 過去1年間に行った運動・スポーツ

過去1年間に行った運動・スポーツの実施頻度を4つに分類して比較しています。

全国調査の結果と比較すると、全対象において、高頻度群については全国よりも割合が高いものの、本市の前回調査の結果と比較すると、小学生が大きく下がり、中学生は微増、高校生は微減となり、非実施群の割合についても増加しています。



過去1年間に行った運動・スポーツの種目をみると、全対象いずれも全国調査と似た種目が上位に位置しています。その中でも本市の結果では地元プロスポーツチームである徳島ヴォルティスの影響により「サッカー」が高くなっていると考察され、その他、「バレーボール」「筋力トレーニング」も高くなっています。

過去1年間に行った運動・スポーツ種目

■2024 鳴門市の小学校4～6年生（n=350／複数回答可）

順位	種目	割合	n
1	おにごっこ	72.0%	252
2	ぶらんこ	57.1%	200
3	自転車あそび	46.6%	163
4	ドッジボール	44.9%	157
5	かくれんぼ	44.6%	156
6	水泳（スイミング）	42.3%	148
7	サッカー	41.7%	146
8	鉄棒	41.1%	144
9	なわとび（長なわとびを含む）	38.9%	136
10	キャッチボール	31.4%	110

■2023 全国の小学校4～6年生（n=616／複数回答可）

順位	種目	割合	n
1	おにごっこ	70.8%	436
2	ドッジボール	57.0%	351
3	なわとび（長なわとびを含む）	49.4%	304
4	ぶらんこ	49.2%	303
5	水泳（スイミング）	45.1%	278
6	自転車あそび	42.9%	264
7	サッカー	41.7%	257
8	かくれんぼ	40.3%	248
9	鉄棒	38.5%	237
10	かけっこ	35.2%	217

■2024 鳴門市の中学生（n=407／複数回答可）

順位	種目	割合	n
1	バスケットボール	29.0%	118
	おにごっこ	29.0%	118
3	サッカー	26.8%	109
4	キャッチボール	26.3%	107
5	バレーボール	25.8%	105
6	ぶらんこ	24.3%	99
7	バドミントン	24.1%	98
8	筋力トレーニング	22.9%	93
9	ボウリング	20.4%	83
10	ドッジボール	20.1%	82

■2023 全国の中学生（n=462／複数回答可）

順位	種目	割合	n
1	おにごっこ	28.4%	131
2	バスケットボール	24.9%	115
3	ドッジボール	24.7%	114
4	サッカー	24.2%	112
5	バドミントン	23.8%	110
6	ジョギング・ランニング	21.2%	98
7	バレーボール	20.1%	93
	なわとび（長なわとびを含む）	20.1%	93
9	卓球	19.5%	90
10	ぶらんこ	19.3%	89

■2024 鳴門市の高校生（n=295／複数回答可）

順位	種目	割合	n
1	サッカー	27.1%	80
2	バレーボール	24.7%	73
3	筋力トレーニング	24.1%	71
4	バドミントン	23.4%	69
5	バスケットボール	23.1%	68
6	卓球	17.6%	52
7	ボウリング	16.9%	50
	ジョギング・ランニング	16.9%	50
9	ウォーキング	15.9%	47
10	ぶらんこ	12.2%	36

■2023 全国の高校生（n=437／複数回答可）

順位	種目	割合	n
1	バスケットボール	22.9%	100
2	バドミントン	21.5%	94
3	ジョギング・ランニング	20.6%	90
4	バレーボール	19.0%	83
5	ウォーキング	18.5%	81
6	筋力トレーニング	17.2%	75
	サッカー	17.2%	75
8	卓球	15.1%	66
9	野球	11.7%	51
10	なわとび（長なわとびを含む）	10.8%	47

② 今後行いたい運動・スポーツ

今後も続けたい、または新たに始めたい運動・スポーツの種目については、過去1年間に行った運動・スポーツに比べると球技が上位を占める結果となっています。小学校4～6年生については水泳が特に高いほか、バスケットボールとバドミントンは各年代で上位に位置しています。

今後も続けたい、または新たに始めたい運動・スポーツ種目

■2024 鳴門市の小学校4～6年生 (n=224/複数回答可)

順位	種目	割合	n
1	サッカー	25.0%	56
2	水泳(スイミング)	22.3%	50
3	バスケットボール	14.7%	33
4	バドミントン	12.9%	29
5	おにごっこ	12.5%	28
6	ドッジボール	10.3%	23
	野球	10.3%	23
8	卓球	8.5%	19
	バレーボール	8.5%	19
10	釣り	7.6%	17

■2024 鳴門市の中学生 (n=270/複数回答可)

順位	種目	割合	n
1	バスケットボール	24.1%	65
2	バドミントン	22.2%	60
3	バレーボール	21.9%	59
4	サッカー	17.8%	48
5	ソフトテニス(軟式)	15.2%	41
6	ハンドボール	13.0%	35
7	卓球	12.6%	34
8	野球	11.1%	30
9	釣り	10.7%	29
10	テニス(硬式)	8.1%	22

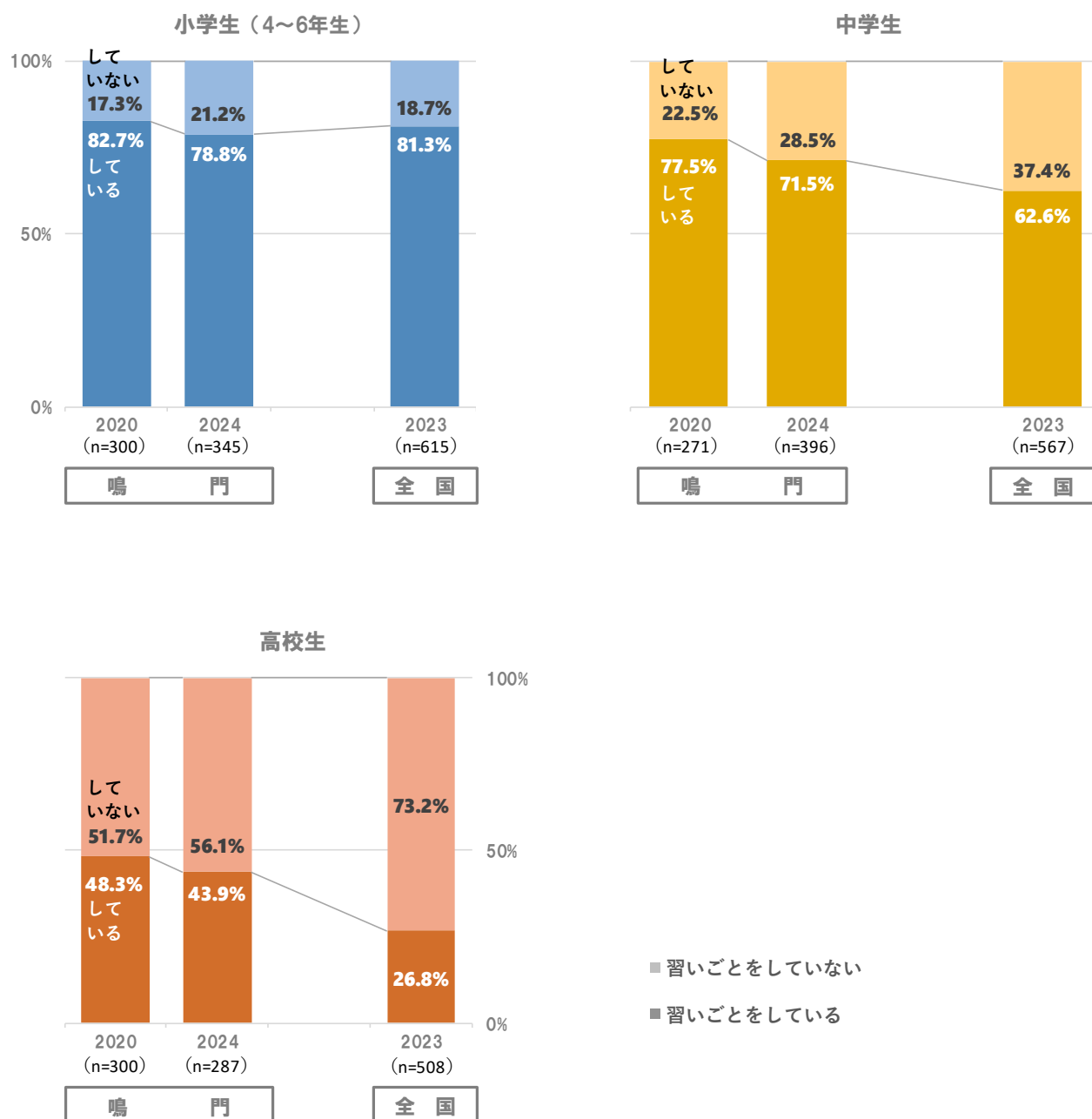
■2024 月鳴門市の高校生 (n=158/複数回答可)

順位	種目	割合	n
1	バドミントン	24.7%	39
2	バレーボール	24.1%	38
3	バスケットボール	19.6%	31
4	筋力トレーニング	17.1%	27
5	サッカー	15.8%	25
6	ボウリング	12.0%	19
7	釣り	11.4%	18
	ジョギング・ランニング	11.4%	18
9	弓道	10.8%	17
10	卓球	7.6%	12

③ 習いごと

次ページの運動・スポーツを含む習いごとの実施状況について、本市の前回調査の結果と比べると全体的に実施割合が低下し、小学生は全国調査の結果を下回っています。なお、中学生・高校生の全国調査が最後に行われた2019年のデータでは、習いごとをしている中学生は62.6%、高校生は26.8%となっており、本市の中学生・高校生も実施割合は低下しているものの、2019年全国調査の結果は上回っている状況です。

習いごとの実施割合



中学生、高校生と学年が上がるにつれて、スポーツに関する習いごとは減少しています。

■2024 鳴門市の小学校 4～6 年生 (n=345／複数回答可)

順位	内容	割合	n
1	学習塾	28.7%	99
2	水泳 (スイミング)	16.5%	57
3	ピアノ	14.8%	51
4	習字	13.6%	47
5	英会話	13.0%	45
6	サッカー	12.5%	43
7	陸上競技	7.5%	26
8	バスケットボール	5.8%	20
	体操	5.8%	20
10	野球	4.3%	15

■2023 全国の小学校 4～6 年生 (n=500／複数回答可)

順位	内容	割合	n
1	学習塾	31.6%	158
2	水泳 (スイミング)	23.4%	117
3	英会話	18.6%	93
4	ピアノ	15.4%	77
	サッカー	15.4%	77
6	習字	15.2%	76
7	そろばん	6.2%	31
	体操	6.2%	31
	ダンス (ヒップホップダンス・ジャズダンスなど)	6.2%	31
10	バスケットボール	6.0%	30

■2024 鳴門市の中学生 (n=396／複数回答可)

順位	内容	割合	n
1	学習塾	44.9%	178
2	習字	6.3%	25
3	英会話	6.1%	24
4	ピアノ	5.3%	21
	サッカー	5.3%	21
6	バスケットボール	5.1%	20
7	家庭教師	4.0%	16
8	テニス	3.8%	15
9	卓球	2.5%	10
	バドミントン	2.5%	10
	ダンス (ジャズダンス、ヒップホップダンスなど)	2.5%	10
	陸上競技	2.5%	10

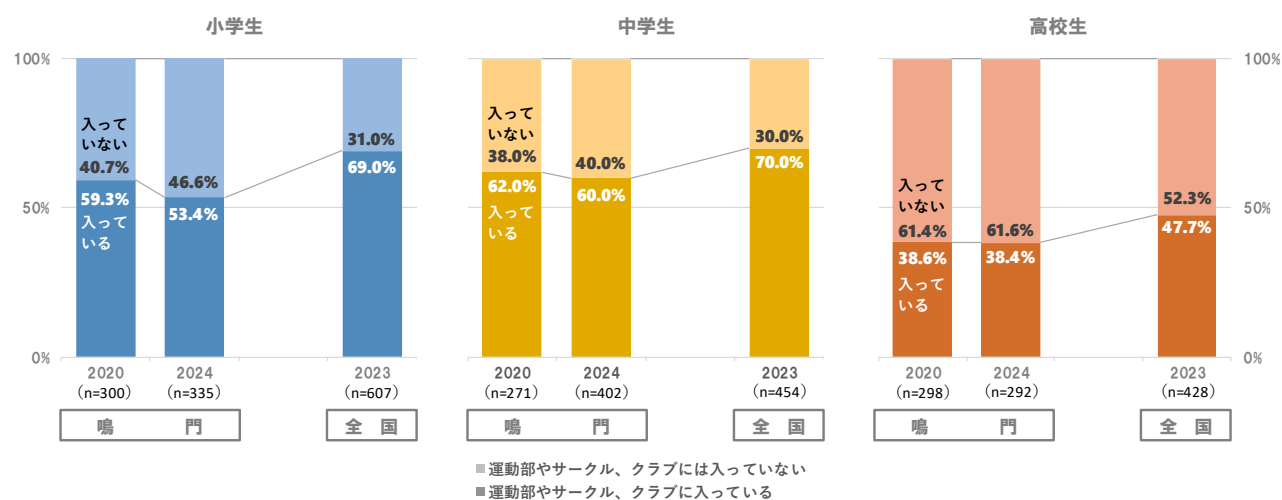
■2024 鳴門市の高校生 (n=287／複数回答可)

順位	内容	割合	n
1	学習塾	20.2%	58
2	サッカー	5.6%	16
3	習字	3.8%	11
4	家庭教師	3.5%	10
5	英会話	3.1%	9
	ピアノ	3.1%	9
	バドミントン	3.1%	9
8	陸上競技	2.8%	8
9	バスケットボール	1.7%	5
	ダンス (ジャズダンス、ヒップホップダンスなど)	1.7%	5

④ 学校の運動部やサークル、スポーツクラブ

学校の運動部やサークル、スポーツクラブへの加入割合について、中学生・高校生は横ばい、小学生は低下しています。いずれも全国調査の結果より低くなっています。

学校の運動部やサークル、スポーツクラブへの加入割合



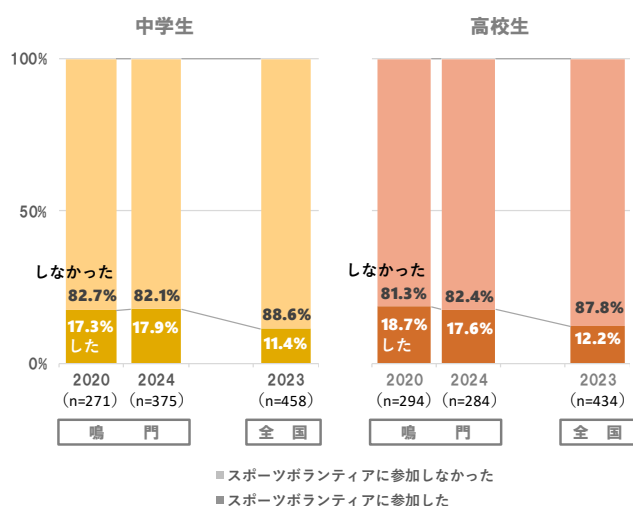
⑤ スポーツボランティア

過去1年間のスポーツ活動の手伝いやお世話など、スポーツを支えるボランティア活動の実施割合をみると、全国調査の結果と比べて中学生・高校生ともに上回っています。

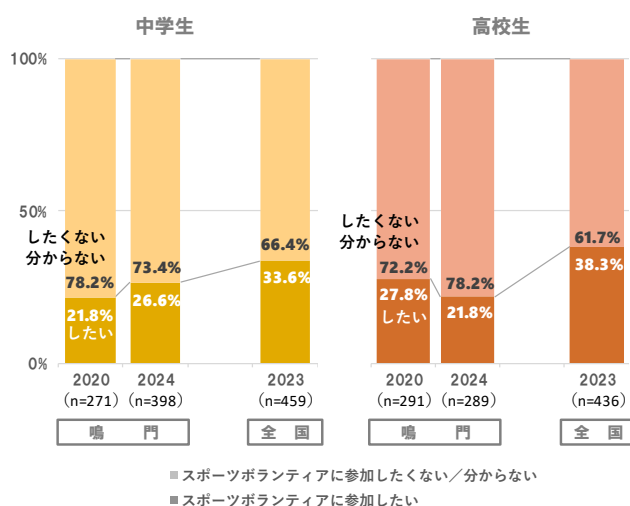
スポーツボランティアの今後の意向をみると、中学生が本市の前回調査より割合が高くなったものの、中学生・高校生ともに全国調査と比べて低い傾向にあります。

活動内容では、「スポーツの審判や審判の手伝い」の割合が減少し、「スポーツイベントの手伝い」「スポーツの指導や指導の手伝い」の割合が増加しています。中でも、特に「スポーツイベントの手伝い」については、中学生・高校生ともに全国調査の結果を大幅に上回っています。

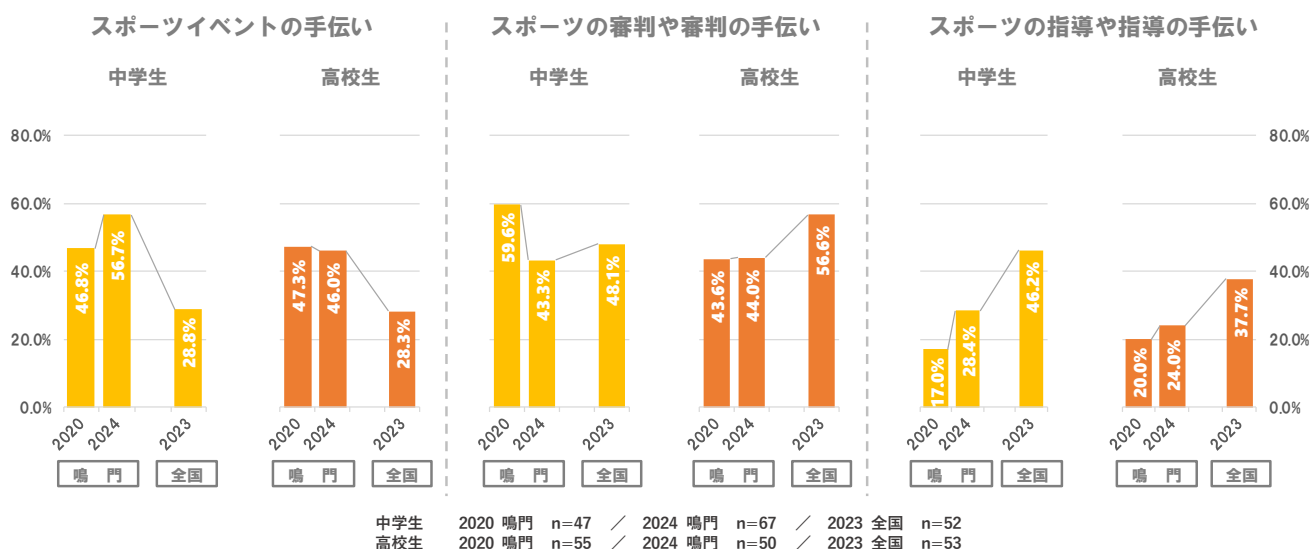
過去1年間のスポーツボランティア活動の有無



スポーツボランティアの今後の意向



スポーツボランティアの活動内容

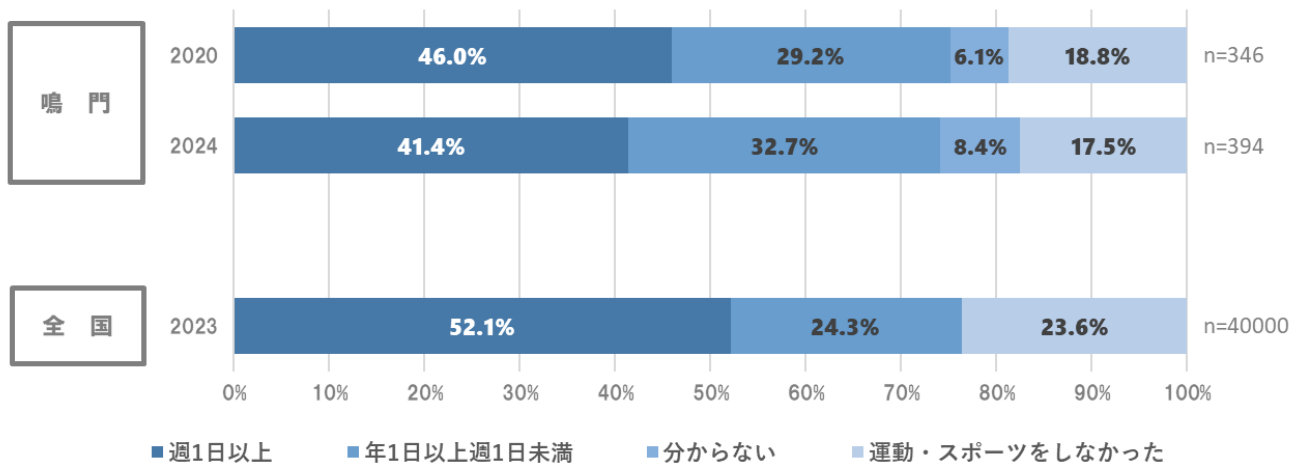


II. 鳴門市民のスポーツライフに関する実態調査 結果 (20～70 歳代、市内スポーツ団体)

① 過去 1 年間に行った運動・スポーツ

本市の「成人の過去 1 年間に行った運動・スポーツの実施頻度」については、「週 1 日以上」の割合が前回調査を下回ったものの、「年 1 日以上週 1 日未満」は増加し、「しなかった」割合は若干の改善となりました。「週 1 日以上」の割合は、スポーツ庁が実施した全国調査「スポーツの実施状況等に関する世論調査」の結果 (52.1%) や国の目標 (70%)、市の目標 (65%) には達していません。

成人の過去1年間に行った運動・スポーツの実施頻度



過去 1 年間に行った運動・スポーツの種目をみると、笹川スポーツ財団の行った全国調査とほぼ同様の結果となっており、歩行系（散歩、ウォーキング、ジョギングなど）や体操系（軽い体操、筋力トレーニングなど）が上位を占めています。その中でも、本市の調査結果の特徴としては、「散歩（ぶらぶら歩き）」や「ウォーキング」の実施割合が全国調査の結果に比べて割合が高いこと、また、卓球教室が定期的開催されていることにより、「卓球」が全国調査では男子 3.7%、女子 4.4%のところ、本市では男子 6.4%、女子 9.1%と、男女ともに高くなっています。

過去 1 年間に行った運動・スポーツ種目

■2024 鳴門市の成人男性（n=157／複数回答可）

順位	種目	割合	n
1	散歩（ぶらぶら歩き）	39.5%	62
2	ウォーキング	34.4%	54
3	筋力トレーニング	26.8%	42
4	釣り	17.8%	28
5	ゴルフ（練習場）	15.9%	25
6	ジョギング・ランニング	15.3%	24
7	体操（軽い体操・ラジオ体操など）	14.0%	22
8	ゴルフ（コース）	12.1%	19
9	水泳	11.5%	18
10	キャッチボール	8.9%	14

■2022 全国の成人男性（n=1503／複数回答可）

順位	種目	割合	n
1	ウォーキング	28.6%	430
2	散歩（ぶらぶら歩き）	27.3%	410
3	筋力トレーニング	19.4%	291
4	ジョギング・ランニング	12.6%	190
5	体操（軽い体操・ラジオ体操など）	11.8%	177
6	ゴルフ（コース）	11.7%	176
7	釣り	11.5%	173
8	ゴルフ（練習場）	10.2%	154
9	サイクリング	8.7%	131
10	登山	6.2%	93

■2024 鳴門市の成人女性（n=232／複数回答可）

順位	種目	割合	n
1	散歩（ぶらぶら歩き）	42.7%	99
2	ウォーキング	39.2%	91
3	体操（軽い体操・ラジオ体操など）	32.3%	75
4	筋力トレーニング	23.3%	54
5	卓球	9.1%	21
6	ボウリング	8.6%	20
7	登山	7.3%	17
8	水泳	6.9%	16
9	バドミントン	6.5%	15
	ヨーガ	6.5%	15

■2022 全国の成人女性（n=1497／複数回答可）

順位	種目	割合	n
1	散歩（ぶらぶら歩き）	36.4%	545
2	ウォーキング	30.2%	452
3	体操（軽い体操・ラジオ体操など）	23.0%	345
4	筋力トレーニング	13.4%	201
5	ヨーガ	8.4%	126
6	なわとび	6.7%	100
7	バドミントン	6.1%	92
8	ボウリング	5.2%	78
	サイクリング	5.2%	78
10	ジョギング・ランニング	5.1%	76

② 現在行っている、また、今後行いたいと思う運動・スポーツ

現在行っている、また、今後行いたいと思う運動・スポーツの種目を見ると、前ページの過去1年間に行った運動・スポーツの種目のように、全国調査と同様の傾向となっていますが、本市の調査結果の特徴としては、成人男性では「水泳」が全国調査結果（11位 10.0%）を大幅に上回り、成人女性でも「水泳」「アクアエクササイズ」が全国調査結果（水泳7位 10.5%・アクアエクササイズ16位 5.3%）を上回っています。

現在行っている、また、今後行いたいと思う運動・スポーツ種目

■2024 鳴門市の成人男性（n=157／複数回答可）

順位	種目	割合	n
1	筋力トレーニング	36.9%	58
2	散歩（ぶらぶら歩き）	29.3%	46
3	ウォーキング	27.4%	43
4	水泳	18.5%	29
	釣り	18.5%	29
6	ジョギング・ランニング	17.8%	28
7	ゴルフ（練習場）	15.3%	24
8	ゴルフ（コース）	14.6%	23
9	キャンプ	12.7%	20
10	体操（軽い体操・ラジオ体操など）	12.1%	19

■2022 全国の成人男性（n=1503／複数回答可）

順位	種目	割合	n
1	ウォーキング	22.6%	339
2	筋力トレーニング	21.2%	318
3	散歩（ぶらぶら歩き）	19.7%	296
4	釣り	17.5%	263
5	ゴルフ（コース）	13.4%	201
6	キャンプ	13.1%	197
7	ジョギング・ランニング	12.4%	187
8	サイクリング	10.6%	160
9	登山	10.1%	152
10	ゴルフ（練習場）	10.0%	151

■2024 鳴門市の成人女性（n=229／複数回答可）

順位	種目	割合	n
1	ウォーキング	38.0%	87
	散歩（ぶらぶら歩き）	38.0%	87
3	体操（軽い体操・ラジオ体操など）	28.8%	66
4	筋力トレーニング	27.5%	63
5	ヨガ	17.0%	39
6	水泳	13.5%	31
7	卓球	13.1%	30
8	ピラティス	12.7%	29
9	アクアエクササイズ （水中歩行・運動など）	12.2%	28
10	バドミントン	10.9%	25

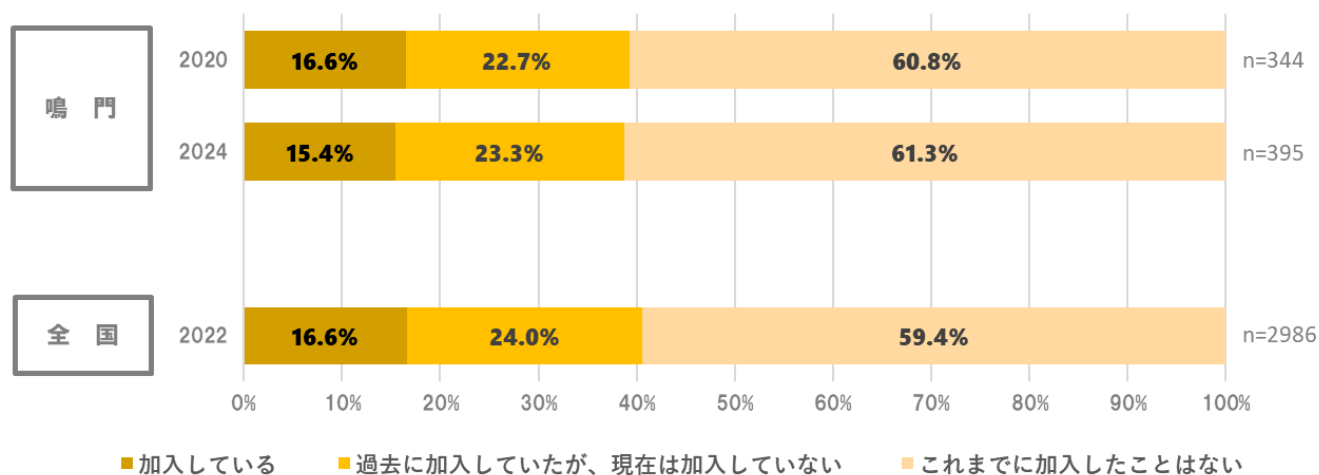
■2022 全国の成人女性（n=1497／複数回答可）

順位	種目	割合	n
1	散歩（ぶらぶら歩き）	28.9%	433
2	ウォーキング	28.6%	428
3	体操（軽い体操・ラジオ体操など）	22.2%	333
4	ヨガ	21.1%	316
5	筋力トレーニング	17.9%	268
6	キャンプ	10.6%	159
7	水泳	10.5%	157
8	ハイキング	9.8%	147
9	バドミントン	9.3%	139
10	登山	8.8%	131

③ スポーツクラブ・同好会・チーム

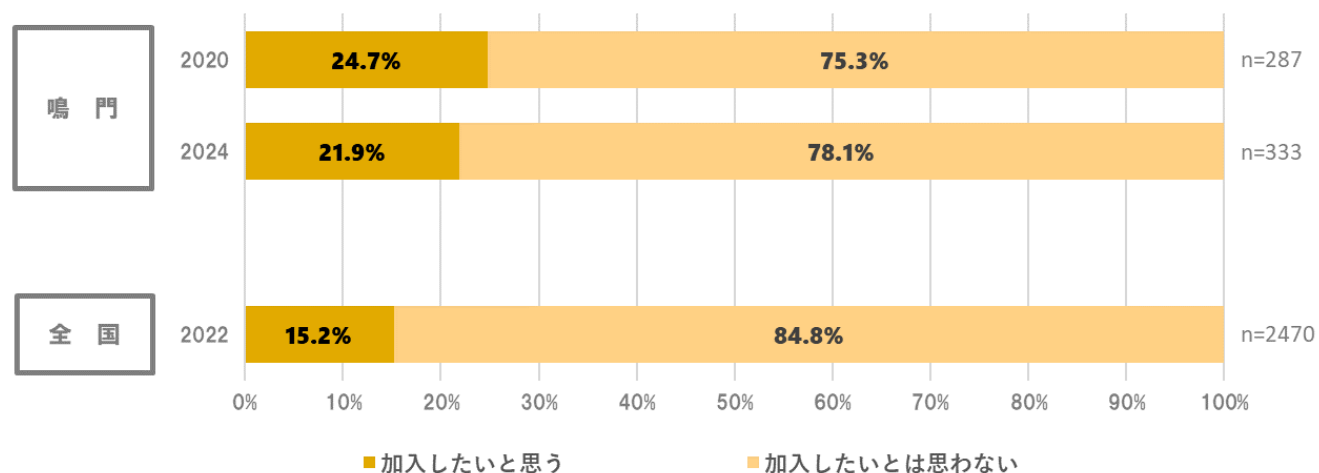
スポーツクラブや同好会、チームへの加入状況をみると、前回調査時の加入割合（16.6%）よりも数字を下げ（15.4%）、全国調査における加入割合（16.6%）を下回る結果となっています。

スポーツクラブ・同好会・チームへの加入状況



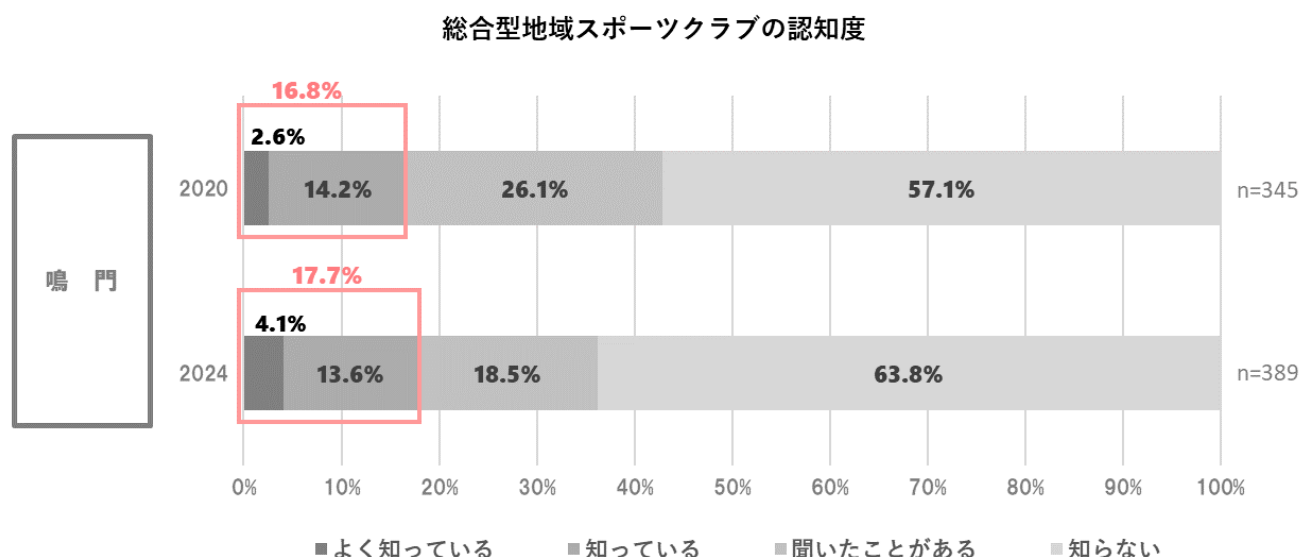
現在、スポーツクラブや同好会、チームに加入していない方の今後の加入希望をみると、前回調査時の加入を希望する割合（24.7%）より数字を下げましたが（21.9%）、全国調査の結果（15.2%）より高い割合を保っています。

スポーツクラブ・同好会・チームへの加入希望



④ 総合型地域スポーツクラブの認知度

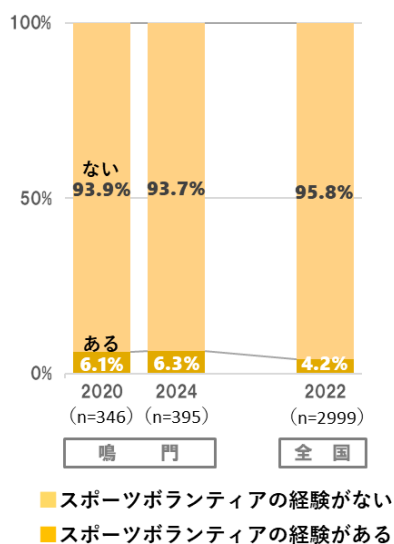
総合型地域スポーツクラブの認知度（「よく知っている」と「知っている」の合計）をみると、前回調査時の割合（16.8%）よりも高くなっています（17.7%）。クラブの存在が徐々に浸透してきていると考えられますが、「知らない」の割合も57.1%から63.8%と高くなっているため、引き続き認知度を上げていく必要があります。



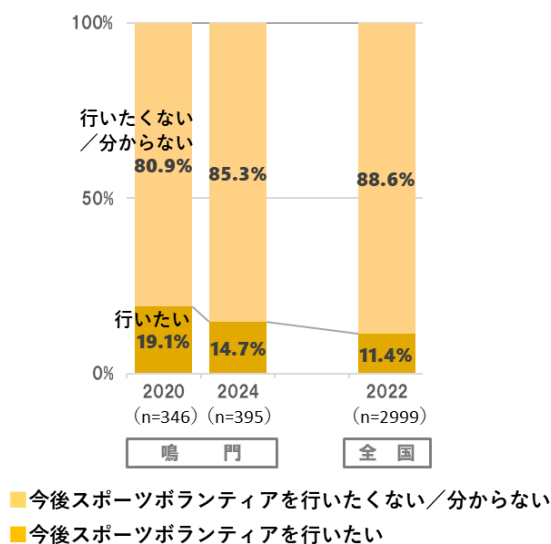
⑤ スポーツボランティア

過去1年間にスポーツボランティア活動を行った経験がある人の割合は、前回の調査結果（6.1%）より数字を上げ（6.3%）、全国調査の結果（4.2%）も上回っています。反対に、「今後スポーツボランティアを行いたい」と答えた人の割合は、前回調査の結果（19.1%）より低く（14.7%）なっているものの、依然全国調査よりも高い状況です。

過去1年間のスポーツボランティア活動の有無



スポーツボランティアの今後の意向



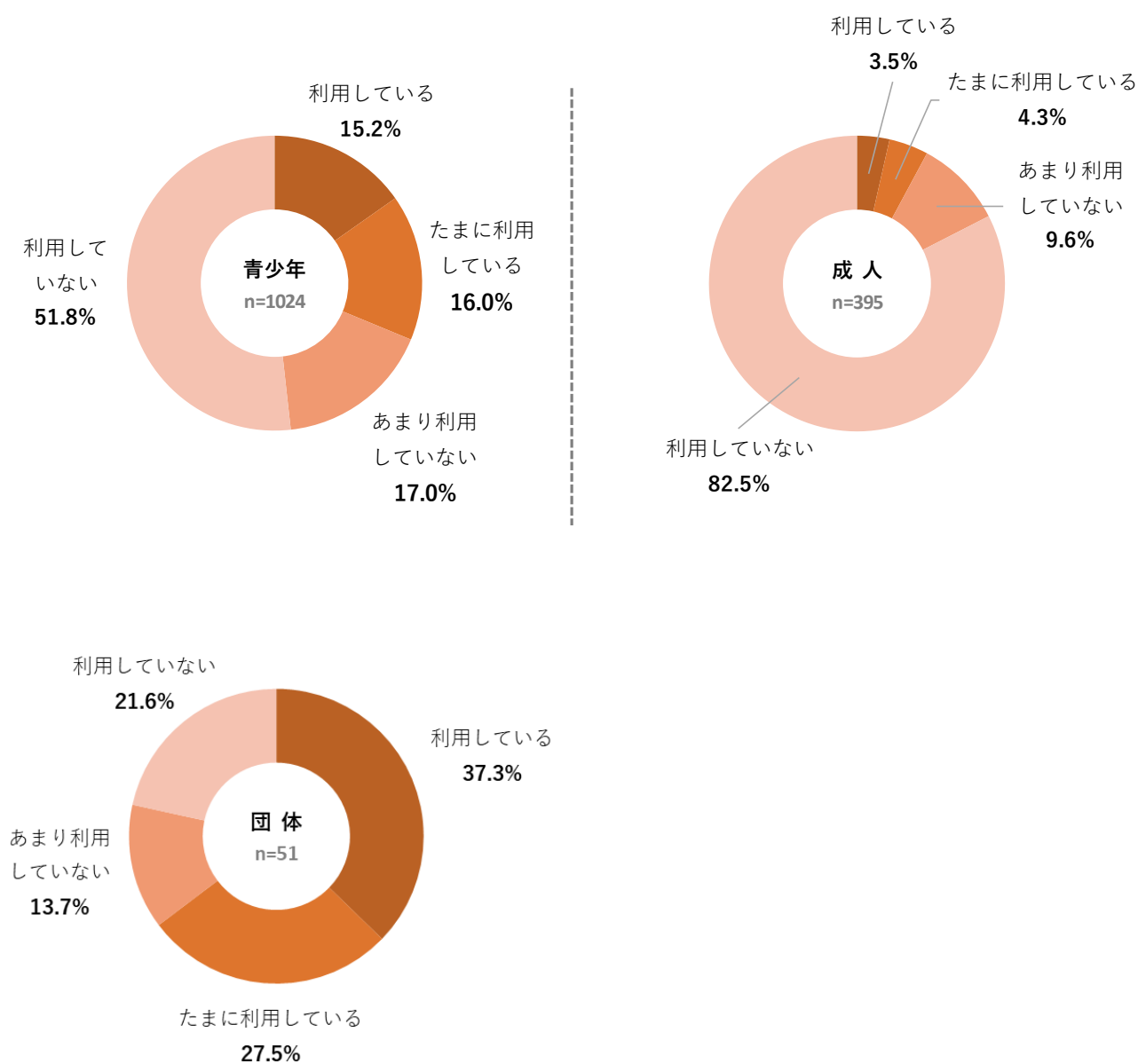
スポーツ施設の整備に関する調査 結果（下記2調査から抜粋して掲載）

- ・ 鳴門市の青少年のスポーツライフに関する実態調査（小学4年生～高校3年生）
- ・ 鳴門市民のスポーツライフに関する実態調査（成人、スポーツ団体）

① スポーツ施設の整備（青少年・成人）

市のスポーツ施設については、青少年 51.8%、成人 82.5%の市民が「利用していない」と答えています。なお、前回調査でも成人の 70.5%が「ほとんど利用しない」と答えており、同様の傾向となっています。一方、スポーツ団体については、「利用していない」は 21.6%であり、一定の利用が伺えます。

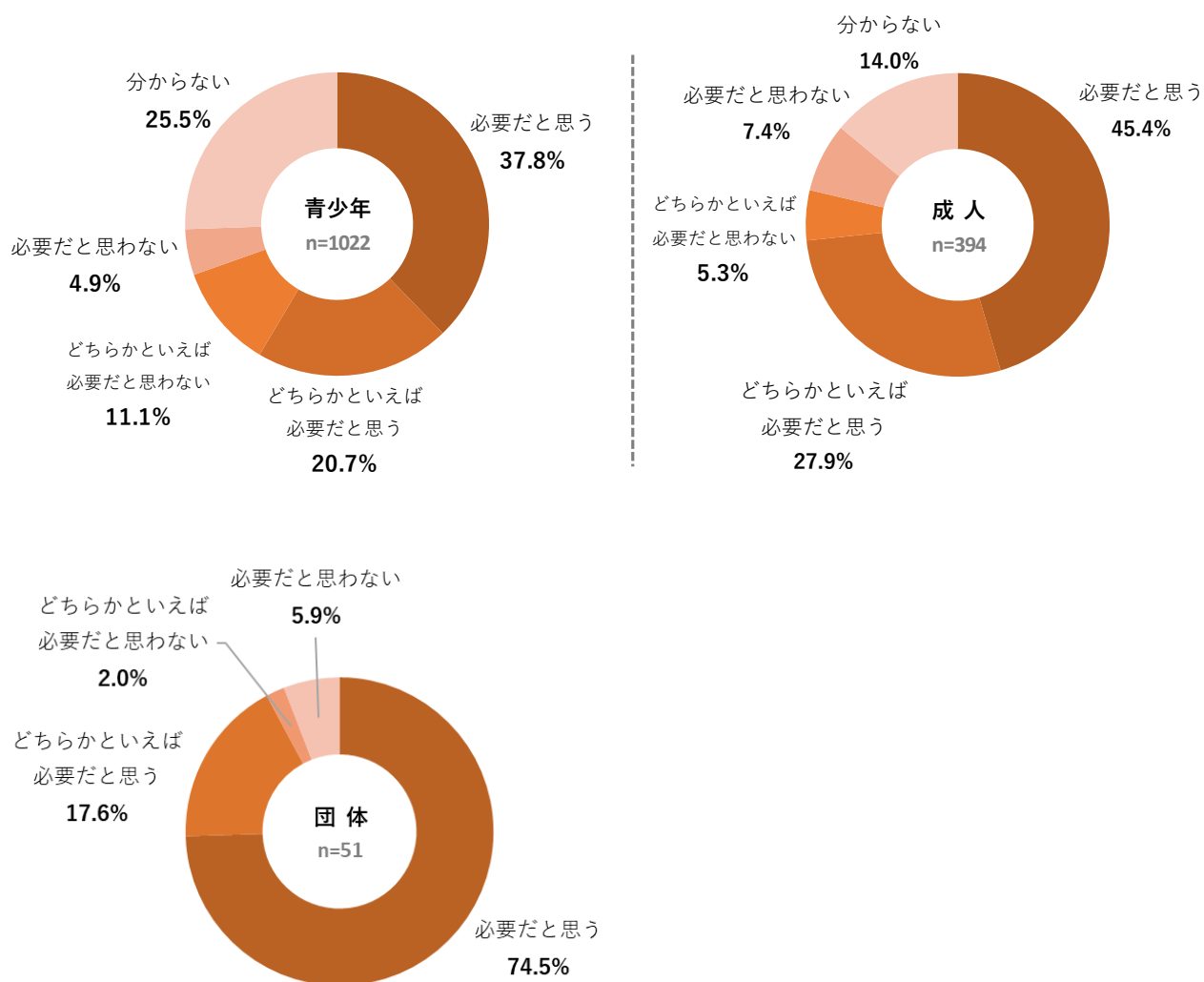
スポーツ施設の利用状況



新しいスポーツ施設が必要（「必要だと思う」と「どちらかといえば必要だと思う」の合計）という割合は青少年で58.5%、成人で73.3%となっており、新しいスポーツ施設は不要（「必要だと思わない」と「どちらかといえば必要だと思わない」の合計）という割合（青少年16.0%、成人12.7%）を大きく上回っています。

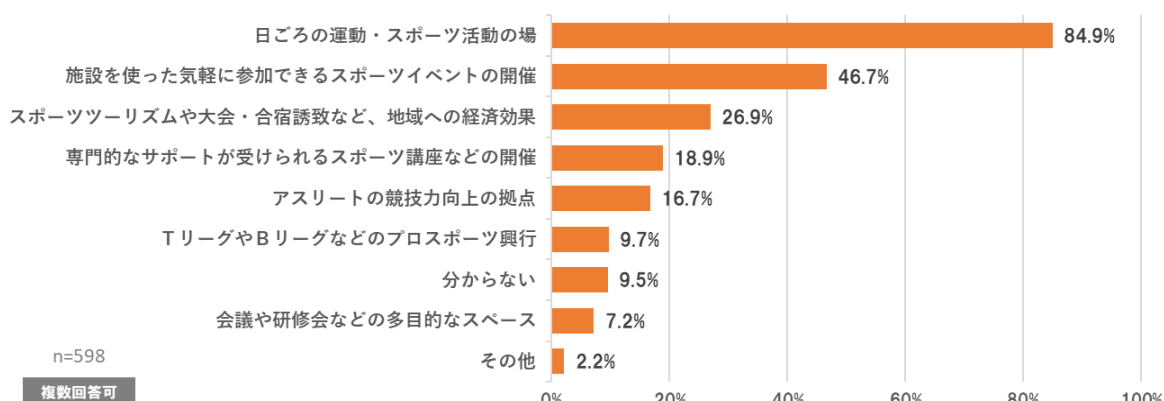
スポーツ団体については、92.1%の団体が必要と答えています。

新スポーツ施設の必要性

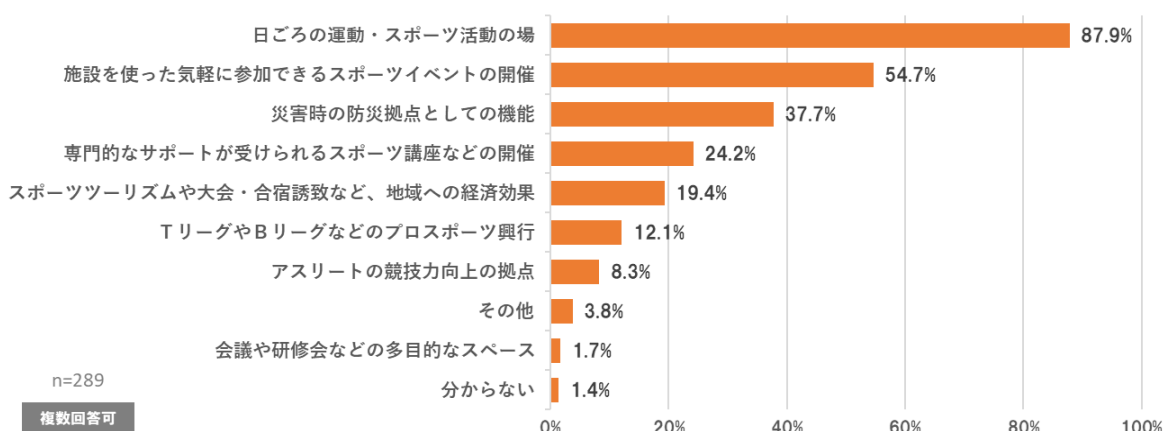


新しいスポーツ施設を整備する場合、施設に望む役割として特に重要視することは、青少年・成人・団体ともに、「日ごろの運動・スポーツ活動の場」が最も多く、青少年で84.9%、成人で87.9%、団体89.4%となっています。次点は「施設を使った気軽に参加できるスポーツイベントの開催」となっており、市民が自ら利用できる施設であることが望まれています。一方で「会議や研修会などの多目的なスペース」については、青少年7.2%、成人1.7%、団体10.6%と新しいスポーツ施設の役割としては望まれていないことが伺えます。

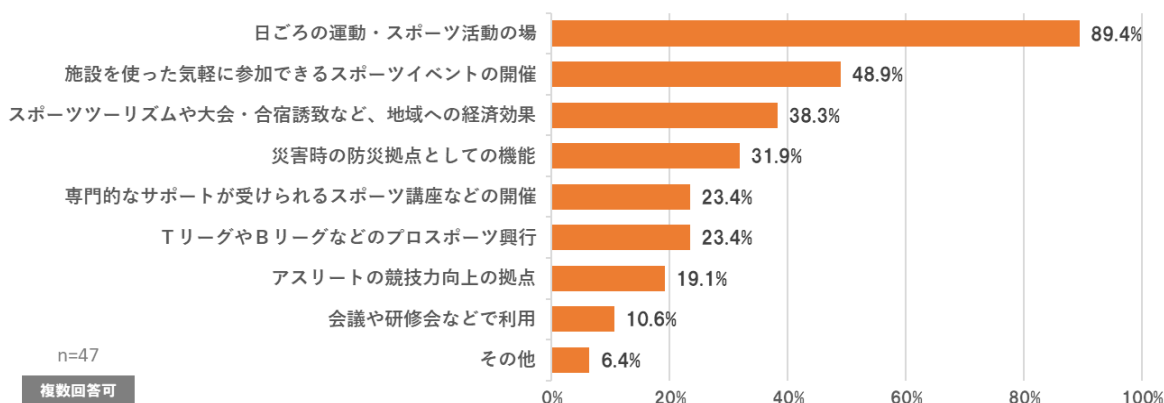
新しいスポーツ施設に望む役割（青少年）



新しいスポーツ施設に望む役割（成人）

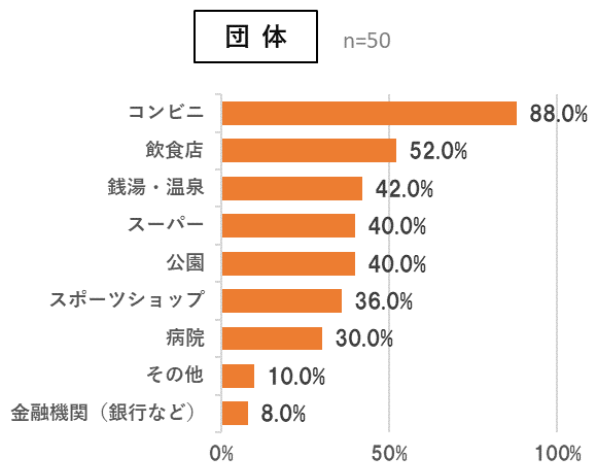
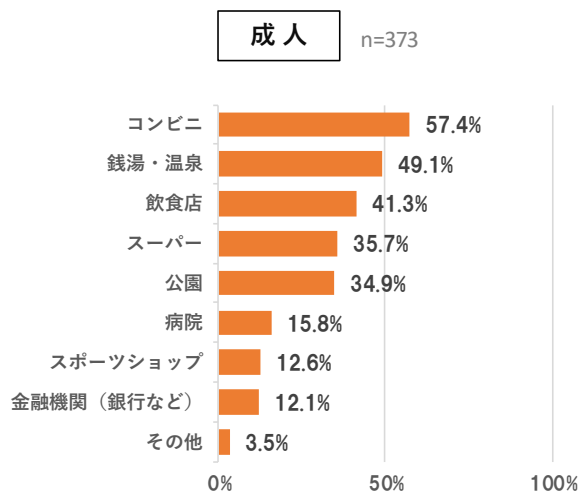
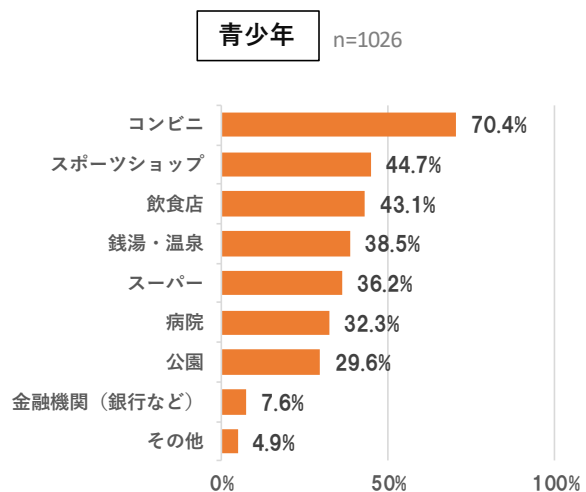


新しいスポーツ施設に望む役割（団体）



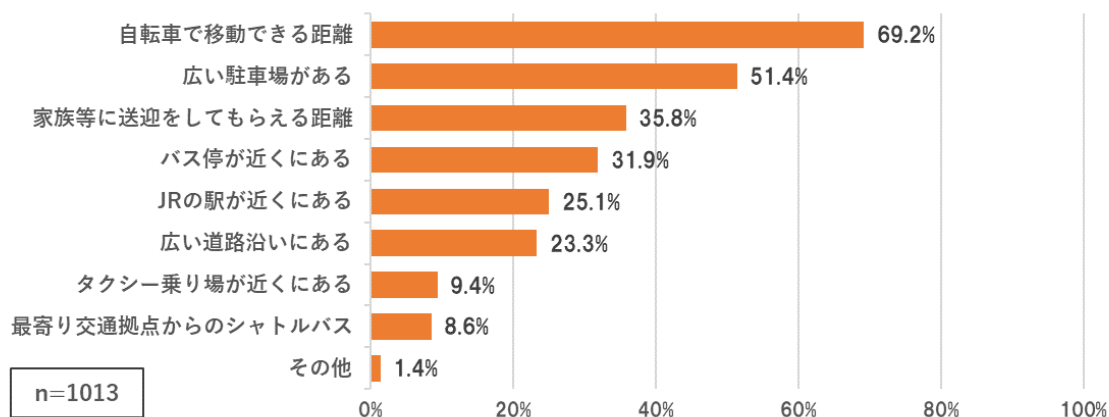
新しいスポーツ施設の近くにあればいいと思う施設については、青少年・成人・団体ともに「コンビニ」が最も高く、「飲食店」「銭湯・温泉」「スーパー」が上位に位置しています。

新しいスポーツ施設の近くにあればいいと思う施設

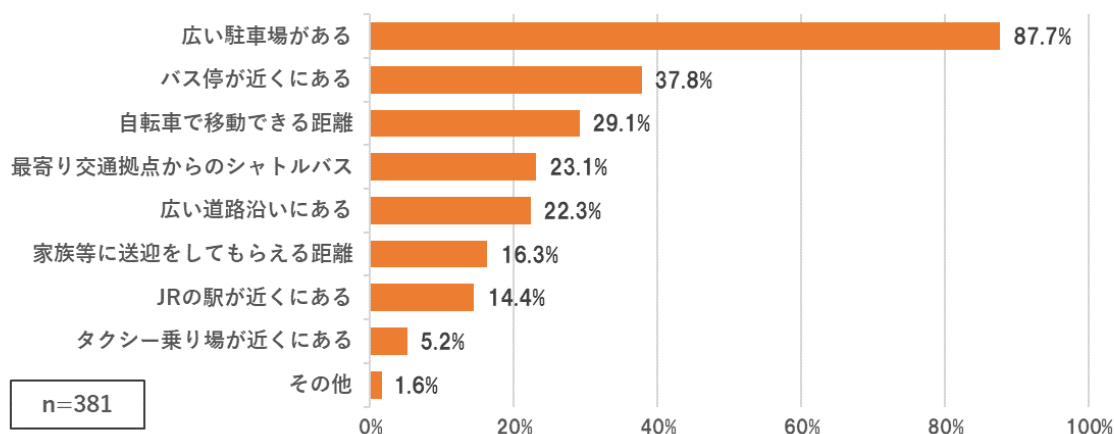


新しいスポーツ施設へのアクセスに望むこととしては、青少年においては「自転車で移動できる距離」「家族等に送迎をしてもらえる距離」が高く、成人・団体では「広い駐車場がある」「バス停が近くにある」の割合が高くなっており、それぞれの主たる移動手段による結果と推察されます。中でも「広い駐車場がある」は成人 87.7%、団体 98.0%と、非常に多くの方が望む項目となっています。

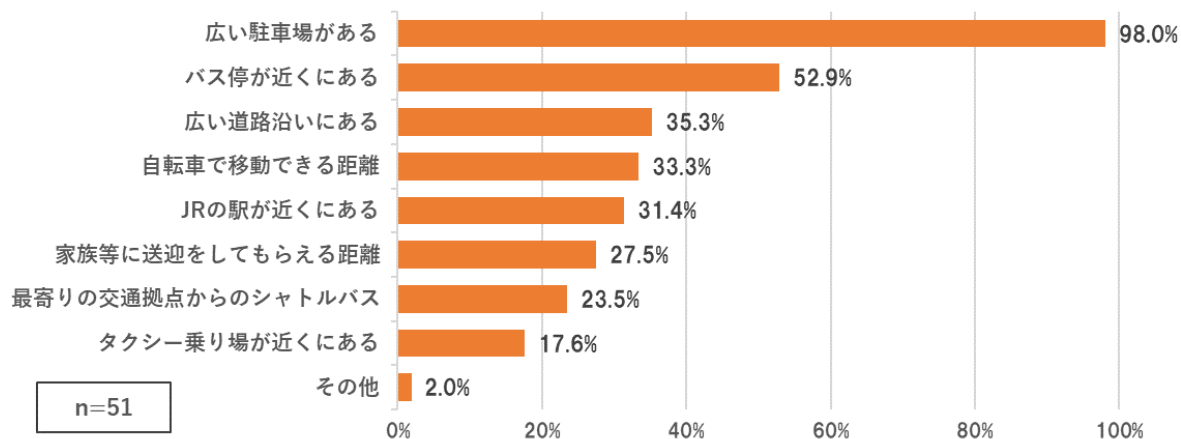
新しいスポーツ施設へのアクセスに望むこと（青少年）



新しいスポーツ施設へのアクセスに望むこと（成人）

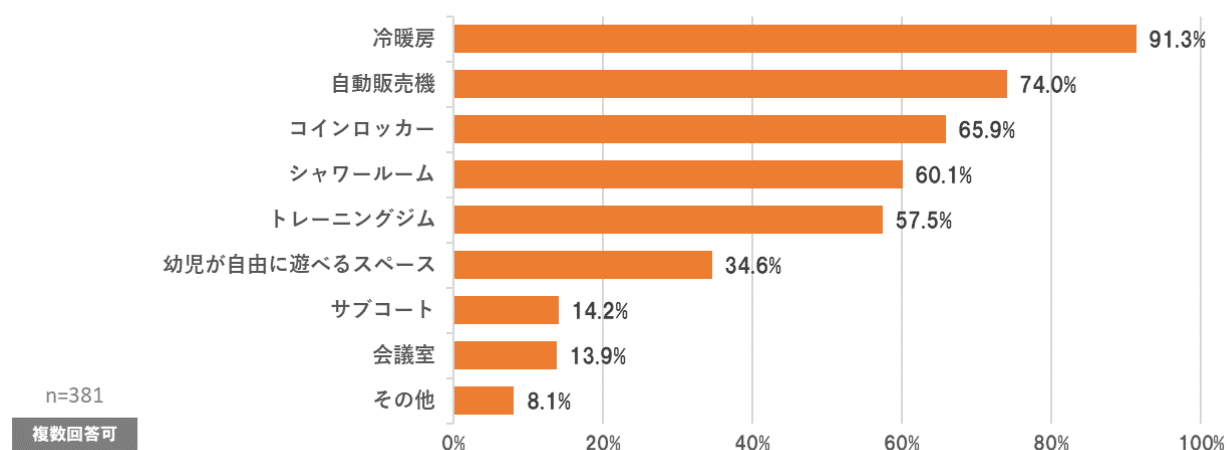


新しいスポーツ施設へのアクセスに望むこと（団体）

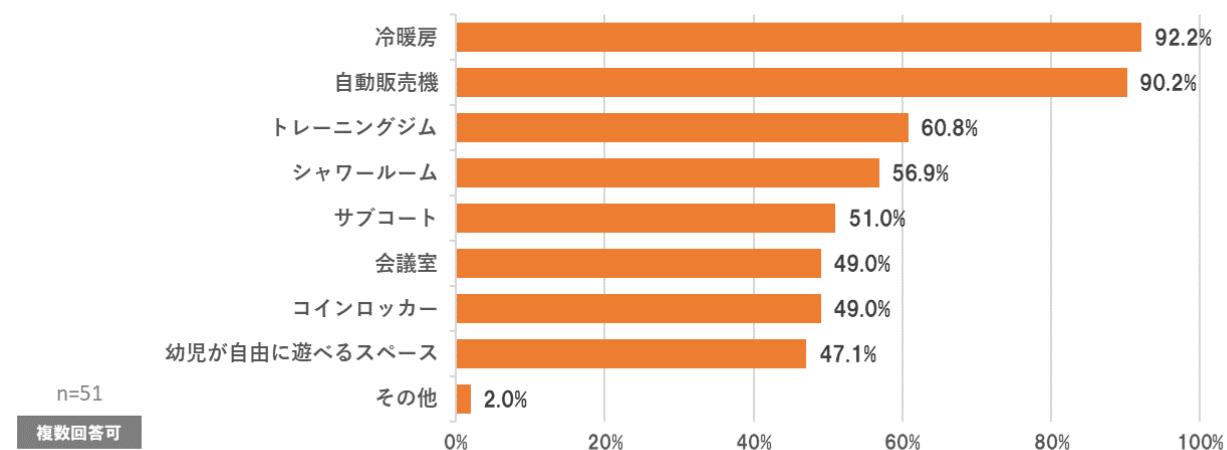


新しいスポーツ施設に必要と思う設備については、「冷暖房」が最も高く、成人 91.3%、団体 92.2%となっています。次いで「自動販売機」が成人 74.0%、団体 90.2%であり、ほかにも「シャワールーム」「トレーニングジム」がそれぞれで 50%を超えています。

新しいスポーツ施設に必要と思う設備（成人）

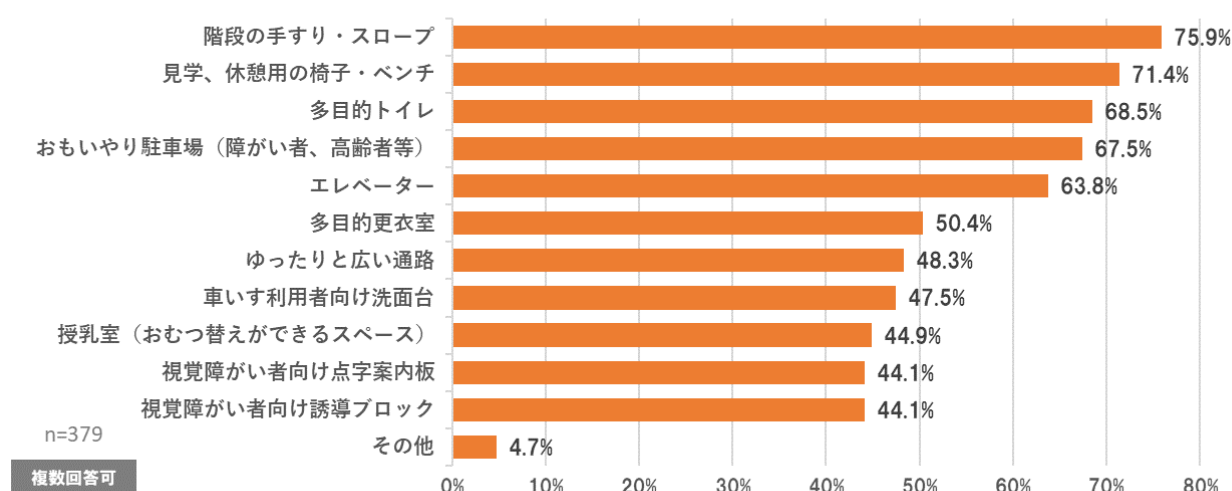


新しいスポーツ施設に必要と思う設備（団体）

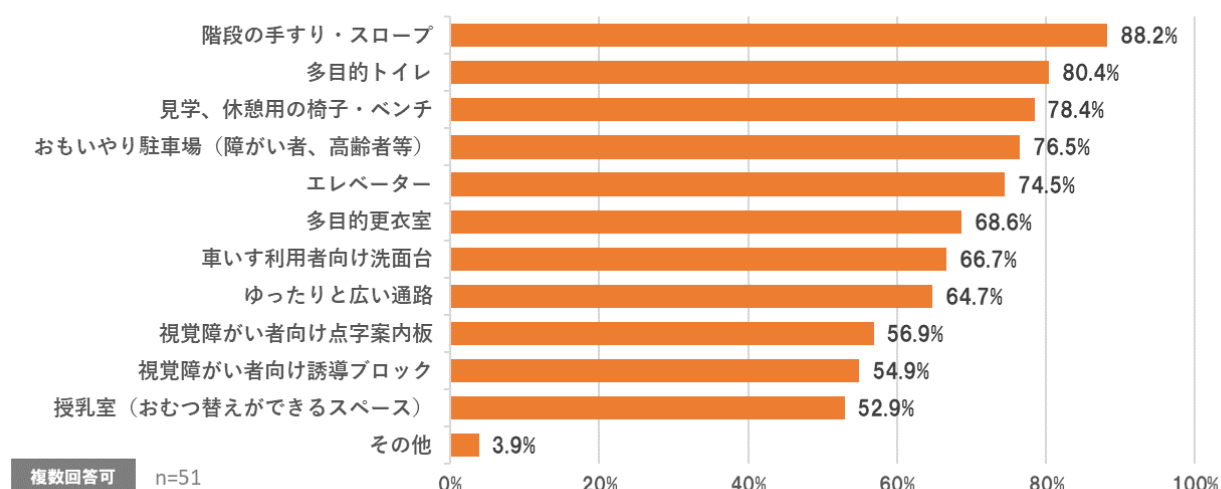


新しいスポーツ施設をだれもが使いやすい施設とするために必要な設備としては、回答項目全体的に割合が高いものの、「階段の手すり・スロープ」「見学、休憩用の椅子・ベンチ」「多目的トイレ」「おもいやり駐車場」「エレベーター」の5項目が、それぞれで60%を超える結果となっています。

新しいスポーツ施設をだれもが使いやすい施設とするために必要な設備（成人）



新しいスポーツ施設をだれもが使いやすい施設とするために必要な設備（団体）



【アンケート結果による各対象の傾向】

(スポーツ活動に関する事項)

小学生

過去1年間に週7回以上スポーツや運動を実施している割合は全国平均を上回っているものの前回調査より低くなっています。

学校運動部やサークル、スポーツクラブへの加入割合は全国平均・前回調査よりも低くなっています。

中学生

過去1年間に週7回以上スポーツや運動を実施している割合は全国平均・前回調査を上回っています。

学校運動部やサークル、スポーツクラブへの加入割合は全国平均・前回調査よりも低くなっています。

スポーツボランティアについては、「参加した」の割合が全国平均・前回調査ともに上回っており、今後の意向については、「参加したい」の割合が前回調査を上回ったものの、全国平均よりも低くなっています。

高校生

過去1年間に週7回以上スポーツや運動を実施している割合が全国平均を上回っているものの前回調査より低くなっています。

学校運動部やサークル、スポーツクラブへの加入割合は全国平均より低く、前回調査とほぼ同じです。

スポーツボランティアについては、「参加した」の割合が全国平均を上回ったものの、前回調査より低くなっており、今後の意向については、「参加したい」の割合が全国平均・前回調査を下回っています。

成人

過去1年間に週1日以上スポーツや運動を実施している割合が全国平均・前回調査よりも低くなっています。

スポーツクラブ・同好会・チームへの加入割合は全国平均・前回調査よりも低くなっており、今後の加入希望については、前回調査を下回ったものの、全国平均よりは高くなっています。

スポーツボランティアについては、「経験がある」「今後行いたい」の割合が全国平均を上回り、経験がある人の割合は前回調査を上回っています。

総合型地域スポーツクラブの認知度については、前回調査より「知っている」と答えた割合は高くなっています。

まとめ

スポーツ・運動の実施頻度について、中学生および高校生のみ全国平均を上回っているものの、他の対象においては下回り、青少年の学校運動部等への加入状況、成人のスポーツクラブ等への加入状況も全国平均を下回っていることから、小学生から高校生、そして成人において各対象に応じたスポーツ参加機会を創出する必要があります。

また、スポーツボランティア活動については、「参加した」中学生・高校生・成人が全国平均を上回ったほか、中学生・高校生の「スポーツイベントへの手伝い」の割合が全国平均より大きく上回っていることから、引き続きスポーツボランティアの活性化を図り、地域のスポーツ振興につなげます。